



報道関係者各位

2022年7月25日

日本セルヴィエ株式会社

国立がん研究センターとの共同研究契約締結について 希少がんの研究開発およびゲノム医療を推進する、産学共同プロジェクト 「MASTER KEY プロジェクト」に参画

日本セルヴィエ株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役:エリック・デラージュ、以下「日本セルヴィエ」)は、この度、国立研究開発法人国立がん研究センター(東京都中央区、理事長:中釜 斉、以下「国立がん研究センター」)と、希少がんの研究開発およびゲノム医療を推進する、産学共同プロジェクト「MASTER KEY プロジェクト¹」に関する共同研究契約を締結した事をお知らせします。

日本セルヴィエは MASTER KEY プロジェクトへの参画を通じて日本における希少がん²のアンメット・メディカルニーズに応える医薬品の研究開発を進めてまいります。

【MASTER KEY プロジェクトについて】

MASTER KEY プロジェクトとは、希少がんの研究開発およびゲノム医療を推進するため国立がん研究センター中央病院が 2017 年より開始した産学共同プロジェクトです。このプロジェクトは、レジストリ研究と副試験の 2 つのパートに分かれます。

レジストリ研究パートでは、これまでまとまった臨床情報が蓄積されてこなかった希少がん患者さまの大規模なデータベースを蓄積することで、分子生物学的な評価指標(バイオマーカー)を含めた希少がんの特性を明らかにすることを目的とします。また、本プロジェクトでは複数の臨床試験(副試験)が実施されますが、レジストリ研究に登録された患者さまは、個別のバイオマーカーの結果に応じて最適な副試験に紹介される機会を得ることができます。

副試験は、特定のバイオマーカーを有する腫瘍に対して特異的に有効性が期待できる新規薬剤を用いる「バイオマーカーあり試験」と、バイオマーカーによらず効果が期待される薬剤を用いた「バイオマーカーなし試験」に大別することができ、このいずれかに分類される副試験が、複数同時に実施されます。

個々の希少がんは、患者さまの数が少ないためまとまった研究を行うことが困難ですが、本プロジェクトではがん種によらず、バイオマーカーの結果に応じて最適な新規薬剤を選択することで、効率的に研究開発を進めることができると期待しています。本プロジェクトを通じて希少がん患者さまに、より早く、より多くの新薬を届けることを目指します。

¹ <https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/masterkeyproject/outline/overview/index.html#shinki>

² <https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/about/index.html>

【セルヴィエグループについて】

セルヴィエは、非営利財団が運営する国際的な製薬グループです。世界 150 カ国に拠点をもち、2021 年の総売上高は 47 億ユーロ、従業員数は全世界で 21,800 人です。セルヴィエは、毎年総売上高(ジェネリック製品を除く)の 20%以上を研究開発に投資している独立したグループです。患者さまにとって有益な治療法の革新を加速させるため、当グループは学術パートナー、製薬グループ、バイオテクノロジー企業とのオープンで協力的なイノベーションに取り組んでいます。また、研究から医薬品の提供を越えたサポートに至るまで、患者さまの声を活動の中心に据えています。

循環器領域のリーダーであるセルヴィエグループが目指しているのは、がん領域で信頼に足る革新的なプレイヤーになることです。その成長の基礎にあるのは、循環器・代謝性疾患、がん、ニューロサイエンス、並びに免疫炎症性疾患に対する持続的な取り組みです。また、あらゆる人が医療を受けやすくなるよう、セルヴィエグループは、多くの病状をカバーする様々な質の高いジェネリック医薬品も提供しています。

日本セルヴィエは、1981 年に設立され、国内製薬会社とのライセンス契約を通じて、セルヴィエの医療用医薬品を国内の患者さまにご提供してまいりました。今後はオンコロジー領域をはじめとするアンメット・メディカルニーズがある領域に注力し、日本の医療に貢献してまいります。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.nihonservier.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

日本セルヴィエ株式会社 広報事務局(株式会社プラップ ジャパン内)

Email: servier.pr@prap.co.jp Tel: 03-4580-9107